



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テクノスマート

コード番号 6246 URL <http://www.technosmart.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長

(氏名) 柳井 正巳

TEL 06-6253-7200

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,869	24.0	190	△31.7	207	△28.7	131	△25.7
26年3月期第1四半期	2,314	△24.1	279	99.7	291	88.7	177	135.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.43	—
26年3月期第1四半期	16.72	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年3月期第1四半期	16,223		9,987		61.6	942.53		
26年3月期	16,038		9,894		61.7	933.79		

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 9,987百万円 26年3月期 9,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	10.00	14.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 6円00銭

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	60.9	400	△11.5	410	△12.4	240	△14.4	22.65
通期	13,000	30.1	750	△39.0	770	△38.9	450	△37.5	42.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	10,821,720 株	26年3月期	10,821,720 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	225,309 株	26年3月期	225,309 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	10,596,411 株	26年3月期1Q	10,596,921 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①経済情勢および業界の状況

当第1四半期累計期間における経済情勢は、欧州では景気の停滞は見られたものの、米国では雇用や所得に改善が見られました。しかし、中国経済の成長鈍化が韓国や台湾経済にも影響し伸び悩みの傾向が見られました。国内では、政府の経済政策の効果もあり、消費増税後の需要減も大きくなく、景気の緩やかな回復の兆しが見られました。

このような状況下におきまして、当社の主要販売先でありますフラットパネルディスプレイ業界では、スマートフォンやタブレット端末用として光学フィルム関連塗工装置ならびにタッチパネル用塗工装置および、エネルギー関連の自動車向けリチウムイオン二次電池や燃料電池関連、また、電子回路用など電子部品関連塗工乾燥装置が売上に寄与しました。また、今後の製品開発のためのテスト機であるスマートラボやパイロットコーターの受注も増加し、今後は、光学フィルム関連と二次電池を始めとするエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組みたいと考えております。

②売上および損益の状況

売上高は、2,869百万円(前年同期比24.0%増)となりました。主な最終製品別売上高構成比率は、薄型表示部品関連機器が81.5%(前年同期は71.9%)、機能性紙・フィルム関連塗工機器が3.4%(前年同期は11.0%)、電子部品関連塗工機器が4.6%(前年同期は8.4%)、エネルギー関連機器が5.1%(前年同期は0.9%)となりました。売上高に占める輸出の割合は、46.1%(前年同期は57.3%)となりました。売上総利益は、345百万円(前年同期比26.3%減)、売上総利益率は、12.0%(前年同期は20.2%)となりました。販売費及び一般管理費は、154百万円(前年同期比18.3%減)となりました。営業利益は、190百万円(前年同期比31.7%減)、経常利益は、207百万円(前年同期比28.7%減)、四半期純利益が131百万円(前年同期比25.7%減)となりました。

③受注の状況

受注高は、1,043百万円(前年同期比60.2%減)、その内輸出受注高は、52百万円(前年同期比85.4%減)となりました。受注残高は4,376百万円(前年同期比16.3%減)、その内輸出受注残高は、1,230百万円(前年同期比55.3%減)となりました。

個別の受注金額については、中国市場など新興国を最終需要先とした国内企業をはじめ、韓国や中国企業向けでは、国内外のメーカーの価格競争は益々厳しいものとなっております。品目別内訳は、スマートフォンやタブレット端末などの薄型表示部品用の光学フィルム塗工装置、タッチパネル用ハードコートフィルム塗工装置ならびに二次電池や燃料電池用エネルギー関連部材用塗工装置、FPC用塗工装置が大半を占めております。

（2）財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

総資産は、16,223百万円（前期末比1.2%増）となりました。これは主に売上債権の増加によるものです。負債は、6,235百万円（前期末比1.5%増）となりました。これは主に仕入債務の増加によるものです。純資産は、9,987百万円（前期末比0.9%増）となりました。自己資本比率は、61.6%（前期末は61.7%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、平成26年5月9日に発表しました平成26年3月期決算短信における平成27年3月期業績予想値で、変更はありません。

なお、業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しており、当社の販売する設備は全て受注生産のため実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の退職給付引当金が51百万円、繰延税金資産が18百万円それぞれ減少し、利益剰余金が32百万円増加しております。なお、四半期損益計算書に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,364,986	4,800,596
受取手形及び売掛金	6,009,791	6,741,607
仕掛品	127,064	132,119
原材料及び貯蔵品	53,939	48,671
その他	115,471	131,312
流動資産合計	11,671,254	11,854,307
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	861,024	850,677
機械及び装置（純額）	276,242	276,940
土地	1,836,830	1,836,830
その他（純額）	85,633	78,644
有形固定資産合計	3,059,731	3,043,093
無形固定資産	8,737	8,208
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079,505	1,099,664
その他	221,455	220,367
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	1,298,660	1,317,731
固定資産合計	4,367,128	4,369,033
資産合計	16,038,382	16,223,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,138,857	3,768,823
短期借入金	540,803	509,047
未払法人税等	449,048	77,099
前受金	329,880	224,759
引当金	114,677	49,870
その他	198,065	398,210
流動負債合計	4,771,331	5,027,809
固定負債		
長期借入金	238,561	180,184
退職給付引当金	538,483	438,694
資産除去債務	8,898	8,898
その他	586,320	580,320
固定負債合計	1,372,263	1,208,097
負債合計	6,143,594	6,235,907

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,125	1,003,125
資本剰余金	515,858	515,858
利益剰余金	7,207,009	7,265,570
自己株式	△108,697	△108,697
株主資本合計	8,617,296	8,675,856
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	252,758	286,843
土地再評価差額金	1,024,733	1,024,733
評価・換算差額等合計	1,277,491	1,311,577
純資産合計	9,894,788	9,987,433
負債純資産合計	16,038,382	16,223,340

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
売上高	2,314,828	2,869,808
売上原価	1,846,296	2,524,530
売上総利益	468,532	345,278
販売費及び一般管理費	188,742	154,294
営業利益	279,789	190,984
営業外収益		
受取利息	314	521
受取配当金	11,618	13,815
その他	2,795	6,215
営業外収益合計	14,729	20,552
営業外費用		
支払利息	2,804	1,400
売上割引	22	2,076
その他	85	125
営業外費用合計	2,912	3,602
経常利益	291,606	207,934
税引前四半期純利益	291,606	207,934
法人税等	114,401	76,262
四半期純利益	177,205	131,672

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高、受注高、受注残高

（単位：千円、％）

品目	前第1四半期 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日		当第1四半期 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日		(参考) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	塗工機械	2,082,000	89.9	2,544,102	88.7	8,965,681	89.7
	化工機械	187,505	8.1	289,684	10.1	830,183	8.3
	その他	45,322	2.0	36,021	1.2	199,126	2.0
	計	2,314,828	100.0	2,869,808	100.0	9,994,992	100.0
	内輸出高	1,326,779	57.3	1,323,736	46.1	4,581,089	45.8
受注高	塗工機械	1,628,407	62.1	984,273	94.3	9,724,458	86.3
	化工機械	944,798	36.0	24,020	2.3	1,353,992	12.0
	その他	49,422	1.9	35,549	3.4	196,011	1.7
	計	2,622,628	100.0	1,043,842	100.0	11,274,462	100.0
	内輸出高	359,528	13.7	52,637	5.0	3,362,865	29.8
受注残高	塗工機械	4,151,087	79.4	3,803,626	86.9	5,363,456	86.5
	化工機械	1,055,178	20.2	556,030	12.7	821,694	13.2
	その他	24,977	0.4	17,290	0.4	17,762	0.3
	計	5,231,243	100.0	4,376,947	100.0	6,202,913	100.0
	内輸出高	2,752,838	52.6	1,230,767	28.1	2,501,866	40.3